

事業報告書(2022(令和4)年度)

令和5年3月31日現在
NPO法人兵庫県暮らしにやさしい防災・減災

1.活動の成果

震災から27年の今年度も昨年度と同様に子どもたちや高齢者、障害を持つ方などの支援団体及び教育関係者等を訪問あるいは電話・電子メールによる防災・減災啓発活動の紹介などを行いました。

芦屋市内・神戸市内・西宮市内などの防災のお話しやかるた取り、液状化の体験学習などを通して啓発活動や講演活動などを行ないました。

今期もコロナ禍でしたが大きなイベントの一つの神戸市消防局のBOKOMIフェスタ(ボウコミフェスタ)に参加してBOKOMIサポーターとしても地域での災害文化を築くことに努めています。

また、毎年1.17のイベントの一つとしてコープこうべ第3地区本部主催の「神戸防災のつどい」にも展示協力しました。

事業として、定款第5条のうち、次の①～③の事業を主に実施し、対象とする人々の「防災意識」と「自助意識」の向上を図ることができたと思います。

①高齢者など、災害弱者の暮らしを支援する事業。
②災害予防の普及啓発事業。

2.特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項(活動実績一覧表)

(1)特定非営利活動に係る事業の実施。
上記記載のとおり、①～③の事業を実施した。実施内容は下表のとおり。

日付	対象(地域・学校など)	場所・内容など	人数	添付資料
令和4年7月19日	コープサークルの会員の方々に挨拶と防災のお話を少し紹介。	コープこうべのコープデイズ芦屋集会室での「地域つながるミーティング」の参加者に防災の現状などを説明。	16	
令和4年10月28日	・近隣の幼児たちと保護者の方たち対象の映像による柴犬の「自助」の大切なお話など。	・コープこうべの西宮北口食彩館の集会室で液状化の体験学習などの幼児対象の防災教育。	17	写真-①、②
令和4年10月30日	・神戸市内の190ものBOKOMI(防災福祉コミュニティ)の会員及び防災関係者に防災意識啓発のお話と個別ブースでの活動紹介のパネル展示と説明等。	・神戸市消防局のBOKOMIフェスタに参加(ポーアイの神戸学院大学構内)、(参加者数は神戸市消防局発表)、 ・展示ブースでは兵庫県の防災啓発ビデオの放映と啓発チラシの配布。 ・防災かるたや紙芝居及び塗り絵などを展示し、訪れた方たちの防災意識の向上を目指した。 ・また、海外からの留学生のために英語の通訳のスタッフの協力も得て国際的なイベントとなった。	3,000	写真-③～⑥
令和5年1月8日	・東灘こどもカフェの近隣の子供たちには「こども防災かるた取り」と柴犬の「自助」の大切なお話し。	・東灘こどもカフェの近隣の児童と見守る保護者たちに防災啓発のお話と久しぶりに行えた「こども防災かるた取り」で楽しく学び命を守るキーワードを協調できた。	15	写真-⑦
令和5年1月15日	コープこうべ第3地区本部主催による市民対象の防災かるた取り会に参加。	神戸市中央区文化センター1階での「神戸防災のつどい」での市民参加のかるた取り会。	37	写真-⑧
		計	3,085	人

写真帳 - 1

↓写真① コープこうべ西宮の集会室で防災体験学習



↓写真② 同左 食彩館(液状化の体験学習)



↓写真③ 神戸市消防局BOKOMIフェスタ出展状況



↓写真④ 同左 (外国の方に非常持ち出しリストの説明)



↓写真⑤ 神戸市BOKOMIフェスタ出展状況



↓写真⑥ 同左 幼児や児童たちと保護者の方も大勢参加



↓写真⑦ 東灘子どもカフェでの防災かるた会と映像によるお話し



↓写真⑧ 神戸防災のつどい(主催コープ第3地区本部)

